

令和7年度学校教育目標と学校支援ボランティアの方へのお願い

I 学校 教育目標

学校目標 めあてをもって生き生きと活動し、かがやく子どもの育成
～認め合い 伝え合い 社会の中でよりよく生きていこうとする子どもの育成～

めざす学校像

- 子どもや教職員が主体的・対話的に生き生きと取り組んでいる学校
- 子どもが安全で安心できる居場所となる学校
- 子ども自身が良い問いを作れる学校
- 家庭・地域と連携し、深いつながりの中で豊かな学びが展開される学校

めざす児童像

- 進んで学ぶ子【自ら学び、自ら考え、よりよい方法を創造し、実行する力を育てる】
 - ・人の話をしっかり聴き、自ら考え、伝え合う子
 - ・資質・能力を身につけ、思考、判断、表現できる子
- 思いやりのある子【人権意識を持ち、お互いの考えを尊重し行動する態度を育てる】
 - ・相手のことを想った言動ができる子
 - ・励まし合い、助け合い、ともによりよく生きようとする子
 - ・地域の良さを理解し、地域を愛し、地域に愛される子
- 強い心と体をつくる子【健康で安全な生活態度や最後までやり抜く意欲を育てる】
 - ・自分から進んで、元気な挨拶や返事をする子
 - ・課題解決を目指し、あきらめずにねばり強く取り組む子

めざす職員像

- つけたい力を明確にし、個に応じた指導・支援が行える教職員
- 互いの主体性を尊重し支え合える教職員
- 主体的に学び続け向上心を持つ教職員
- 家庭・地域との連携を深め、信頼される教職員
- やりがい大切に、仕事の効率化を図り、勤務時間の削減に取り組む教職員

II 重点目標

- (1) 豊かな心の育成と確かな学力の向上・探究的な学びの推進
- (2) 子どもが安心して生活することができる学校教育環境の充実
- (3) 家庭・地域との連携を深め、信頼される開かれた学校づくり

III 具体的な取組と目標

(1)豊かな心・確かな学力・探究

- ①協働的な学びを取り入れた授業改善を推進し、探究的な学びにより、主体的に課題解決に向かおうとする学習活動の展開
- ②ICT 機器を有効的に活用し、家庭学習や個別最適な学びによる学力向上
- ③コミュニケーション能力の向上を基にした仲間づくりの充実
- ④「5つのチャレンジ」の取組による自己調整の習慣と読書習慣の向上

(2)学校教育環境の充実

- ①安心して生活・学習ができる環境(居場所)づくり
- ②主体的・対話的で深い学びを通し、共に考え、より良い集団生活を築こうとする学級づくりの実践
- ③生活科、総合的な学習の時間における探究的な学びの充実と、人権教育・道徳教育の推進

(3)信頼される学校づくり

- ①情報発信を活用した学校教育活動の見える化
- ②地域人材の活用を基盤とした学校教育活動の展開(コミュニティ・スクール)

(4)教職員のメンタルヘルスを含めた総勤務時間削減に向けた取組

- ・綱紀粛正、服務規律遵守

IV 学校支援ボランティアの方へのお願い

- ・児童が安心して学習活動に取り組み、活動の中で自己肯定感を高めることができるよう、ほめて認める関わりをお願いします。
- ・自分で考え、考えたことを人に伝え、自分から行動できる子どもを育てるために、「どうする?」「どうしたいの?」と問いかけるなどして、自発的な行動を促す関わりをお願いします。